

# 研修ローテーションパターン

本プログラムは、3つのローテーションパターンのいずれかにより行います。

## ①のローテーションパターン（基本パターン）

基幹施設である県立北病院の研修をメインとし、研修の2年目ないし3年目に、3ヶ月～6ヶ月の総合病院精神科を経験するローテーションパターンです。

総合病院精神科としては、山梨県立中央病院、ないし、甲府共立病院のいずれかを選択します。単科精神科病院とは異なる精神科医療の局面（救急搬送される自殺企図例などが多い）を体験することにより、精神科臨床医としての総合力をあますところなく身につけることを目指しています。3つのローテーションパターンの中では、担当患者のフォロー期間がもっとも長い（最長3年間フォローできる）、患者の病状改善や悪化を通し、臨床医としての技量を高められるパターンとなります。また、すべての研修が山梨県内で行なえるため、山梨県地域枠の義務年限が3年間カウントできることも特徴です。

1 1 1		1 1 1		1 1 1	
4 5 6 7 8 9 0	1 2	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	1 2 3	4 5 6 7 8 9 0 1 2 1 2 3	
基幹施設			総合 病院	基幹施設	
基幹施設			総合 病院	基幹施設	
基幹施設			総合 病院	基幹施設	
基幹施設				総合 病院	

## ②のローテーションパターン

1年間だけ、総合病院で研修し、総合病院精神科を深く経験するローテーションパターンです。

研修2年目の1年間を山梨大学医学部附属病院精神科で過ごし、山梨県における精神科医療のシステムを総合的に理解できるモデルです。また、山梨大学医学部精神科医局（同門

会) の人脈を広げ、山梨県の主要な精神科医との面識を深めることができます。大学で行なわれている研究にも参加できるパターンです。このパターンを希望する場合、受入側の大学病院の可否判断が優先されます。

1 1 1	1 1 1	1 1 1
4 5 6 7 8 9 0 1 2 1 2 3	4 5 6 7 8 9 0 1 2 1 2 3	4 5 6 7 8 9 0 1 2 1 2 3
基幹施設	山梨大学附属病院	基幹施設

③のローテーションパターン

1年毎に3つの病院で研修を受け、精神科医療／精神医学の多様さを経験するローテーションパターンです。

山梨県立北病院、桜ヶ丘記念病院、慶應義塾大学病院、山梨大学医学部附属病院の合計4施設から研修病院を選択します(ただし県立北病院は必ず選択)。病院に求められる機能や役割の多様さについて経験でき、3つのモデルの中ではもっとも多数の精神科医と交流でき、精神科医療／精神医学の多様さを体感できるパターンですが、配属先の病院は専攻医の希望に極力添えるようにしますが、相談の上、採用の際に決定します。

1 1 1	1 1 1	1 1 1
4 5 6 7 8 9 0 1 2 1 2 3	4 5 6 7 8 9 0 1 2 1 2 3	4 5 6 7 8 9 0 1 2 1 2 3
基幹施設	施設 A	施設 B
施設 A	基幹施設	施設 B
施設 A	施設 B	基幹施設